

## 主催事業の紹介「親子で忍者体験」

県立南薩少年自然の家

### 親子で忍者修行

令和5年度は幼児を対象とした新規プログラムを開発し、当所の施設や自然を活用した遊びを親子で体験したり、親子のコミュニケーションを深めたりする機会としました。

#### 日程

令和5年10月15日(日)

9:30 親子で忍者修行

10:30 子ども忍者修行(幼児のみ)  
子育て忍者修行(保護者のみ)

12:00 親子で忍者めしづくり

#### 親子忍者修行(親子対象)

ロープやはしごを使い、斜面を上り下りする「壁登りの術」や、蜘蛛の巣状に広げられたロープに触れないようにすり抜ける「蜘蛛の巣くぐりの術」、2本の木の間をスラックラインで渡る「綱渡りの術」という3つの活動では、親子で協力して取り組みました。「表裏の術」では、黒と白のパネルをひっくり返しながらか、制限時間内にどちらが多いかを親子で競い合いました。



【綱渡りの術】

#### 【参加者の声】

- ・はじめは緊張のため親から離れられなかったが、少しずつ元気も出てきて楽しく取り組むことができました。
- ・幼児のペースで活動ができ、子どもといろいろ遊べて楽しかったです。

#### 子ども忍者修行(幼児対象)

親子忍者修行の後、南さつま市立中央図書館の職員による「読み聞かせ」を行いました。その後、輪から輪へと跳び移りながら向こう岸を目指す「飛び石の術」や、床をはって洞窟の出口を目指す「床忍びの術」、の出口を目指す「床忍びの術」、折り紙手裏剣で的を倒す「的当ての術」、カードに描かれた動物の真似をする「変わり身の術」



【飛び石の術】

という4つの活動に、子どもだけで取り組みました。

#### 子育て忍者修行(保護者対象)

幼児が子ども忍者修行をしている間、保護者は別室にて、県立図書館の講師による「親子読書の意義」についての講話を聞きました。



【講話の様子】

その後、親同士で子育ての悩みなどについて相談し合いました。

#### 【参加者の声】

- ・改めて読書の大切さを実感しました。頑張るのではなく親も楽しんで読み聞かせをしようと思います。
- ・情報交換で話が盛り上がりました。貴重な意見を聞くことができました。

#### 親子で忍者めし作り(親子対象)

枕崎市観光協会に協力をいただき、鯉節削り体験を行いました。

その後、削り立ての鯉節を使い、飯ごうで炊いたご飯のおにぎりと、手作りみそ玉を親子で協力して作りしました。



【親子で忍者めし】

ほかほかのおにぎりとみそ汁をおいしくいただき、みなさん満面の笑みでした。

#### 【参加者の声】

- ・鯉節削りを家でしたことはなかったので、よい経験になりました。
- ・普段、ご飯をあまり食べない子どもがおにぎりを2個も食べました。

#### 【問合せ先】

県立南薩少年自然の家(電話0993-77-2500)